



● 戸室石の産地は山の中

● 戸室石は火山でできた?!
今から約40万年前、戸室山やキゴ山などの火山活動によって地表に噴き出した溶岩が冷えて固まり、安山岩(あさんがん)という火山岩ができました。よって地表に噴き出した溶岩が冷えて固まり、安山岩(あさんがん)という火山岩ができました。これを「戸室石」といいます。今でも戸室山やキゴ山の周辺で見つけることができます。戸室石の内、地下の浅い所で固まった赤っぽいものを「赤戸室」、地下の深い所でゆっくりと固まった硬めのものを「青戸室」といいます。

山折り

● 戸室石はどんな石?

(山折り)

キゴ山ブックレットNo.2

と む ろ い し

キゴ山の戸室石

見て、ふれて、400年前にタイムスリップ!!



戸室石切丁場(キゴ山西丁場)の戸室石

銀河の里キゴ山
(キゴ山ふれあい研修センター)

山折り

● 石垣の刻印を見に行こう!!
金沢城の石垣には様々な形の印が刻まれています。これを刻印(こくいん)といいますが、この印は、戸室石を切り出したのがこの集団かわかるように刻まれたものです。



● 金沢城に戸室石!!

金沢城の石垣には、戸室山やキゴ山の周辺で切り出された戸室石が、とてもたくさん使われています。

● 金沢城と戸室石

(山折り)

● 戸室石の刻印をさがそう!!

石切丁場の戸室石には、金沢城と同じように印が刻まれています。金沢城とキゴ山へ行って刻印(こくいん)をさがしてみませんか?あなたはいくつ見つけられるでしょうか?ぜひ400年前の石工職人の息づかいを感じてみてください。



● キゴ山ブックレットNo.2 キゴ山の戸室石

発行 平成31年(2019年)3月
金沢市教育委員会生涯学習部生涯学習課
キゴ山ふれあい研修センター
金沢市平等本町カ13番地1
TEL076-229-1141 FAX076-229-2511

このブックレットの作成には、石川県金沢城調査研究所に協力いただきました。金沢城と戸室石についてもっと知りたい人は、研究所が編集した「よみがえる金沢城1・2」という本を読んでみてください。

山折り

● 戸室石はどこから来た?

● 戸室石はどこから来た?
戸室石を切り出す作業場のことを「戸室石切丁場」といいます。戸室石切丁場は、戸室山とキゴ山の周辺を含む東西3.5km、南北3km、面積660haの広い範囲にあるので石切丁場のことをいいます。



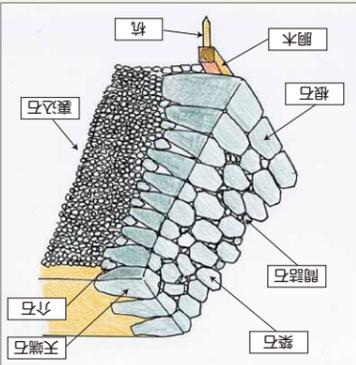
● 石切丁場

(山折り)



この戸室石は、石切丁場から運び出されたものです。

● 戸室石を積み上げて...
金沢城へ運ばれた皆さんの戸室石で石垣を作りました。金沢城では、石垣の石を積むための専門技術を持つ「穴太(あなただ)と呼ばれる石工職人」が石垣を積み上げました。金沢城では、石垣の石を積むための専門技術を持つ「穴太(あなただ)と呼ばれる石工職人」が石垣を積み上げました。金沢城では、石垣の石を積むための専門技術を持つ「穴太(あなただ)と呼ばれる石工職人」が石垣を積み上げました。金沢城では、石垣の石を積むための専門技術を持つ「穴太(あなただ)と呼ばれる石工職人」が石垣を積み上げました。



● 戸室石を積み上げて...

● 人の手で石を運ぶ?!
加工が終わった戸室石は、「石引道」と呼ばれる約1kmもの長い道を石をこえて、金沢城へと運ばれました。この時、木組みに石をくくりつけ、みんながかつ「石釣り」という方法で石を運びました。小さい石は4~8人で、大きい石は24~36人で、2日~5日ほどで運びました。金沢市の「石引」という地名は、戸室石を山から城へ運んだ道筋にあつたのでしたものです。



● 石切丁場から金沢城へ

(山折り)



このマップでは、キゴ山の散策コースの近くにある石切丁場を紹介しています。この他にも、キゴ山には、とてもたくさんの石切丁場が残っています。

- 戸室石の博物館
キゴ山の石切丁場には、地中から掘り出した戸室石の原石や加工中の石、仕上げが終わって運び出す直前の石などが、400年前の姿でそのまま残っています。石切丁場跡を見ると、当時の石工たちの作業風景を想像することができます。戸室石の石切丁場をこんな真近に見ることができる場所は他のどこにもありません。キゴ山はまさに「戸室石の博物館」なのです。
- 石切丁場を大切にしよう
戸室石の石切丁場は、たいへん貴重な文化財です。キゴ山の石切丁場の戸室石を傷つけること、壊すこと、移動すること、掘り出すことなどは禁止されています。石切丁場を大切にしましょう。

(山折り)